

# そよかぜ

2019年5月 Vol.29 春号

## 病院の理念

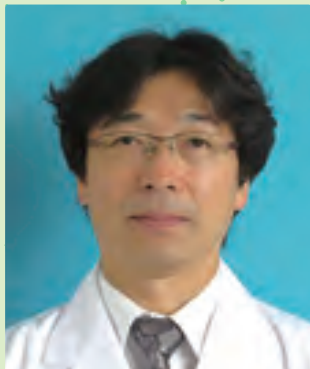
私たちは  
「ゆるぎない信頼、心からの満足」  
をしていただける病院を目指します。  
人としての尊厳を重視した上で専門医療（国  
の定める政策医療）に誇りをもち、地域の  
皆様が安心して心身ともに癒される医療を  
受けていただけるよう全力を尽くします。

## CONTENTS

病院長 ご挨拶	2
新任のご挨拶 大熊事務部長	3
ボランティア感謝状贈呈式	3
職場紹介 医療連携・患者支援センター	4
「食物アレルギーと緊急時対応」を開催して	5
中国・四国ブロック研究発表会に参加して	5
健康教室を開催しました	6



# ご挨拶



国立病院機構 南岡山医療センター 院長  
谷本 安

いよいよ平成の終わりとともに令和の始まりを迎えることとなりました。当院の運営にあたりましては平素より皆様の格別のご理解とご支援を賜り、心よりお礼申し上げます。

当院の目標や方針につきましては、年頭のご挨拶でも触れさせていただきましたが、医療の質を維持・向上し、同時に経営の安定化を図るため、今年度から休棟を含む病棟の再編成を行うことと致しました。軌道に乗るまでの1年程度は長期入院をお受けできない場合がございますことをどうかご了承下さい。

平成31年2月24日には、岡山県のアレルギー疾患医療推進事業の一つとして拠点病院である当院が中心となって、医療従事者や学校・保育園関係者を対象に公開講座 岡山アレルギーフォーラム2019を岡山国際交流センターで開催致しました。食物アレルギーと緊急時対応をテーマとしましたが、詳細は本号に掲載しておりますのでご覧下さい。令和元年からは、アレルギー疾患に対する医療の質の均てん化に向けて、重症のアレルギー疾患の診療や県内の医療連携体制の構築、医療従事者や市民を対象とした情報提供、専門的な知識と技術を有する人材の育成など、さまざまな活動に深く関わっていくこととなります。重症喘息の層別化医療、小児・成人の食物アレルギーの皮膚検査や経口負荷試験による正確な診断をこれまで以上に推進し、今後は舌下免疫療法等の早期介入によるアレルギー疾患の重症化の予防、疾患の連鎖や発症の予防にも取り組む所存です。

「君、人に熱と誠があれば何事でも達成するよ。世の中は決して行き詰まらぬ。若し行き詰まったものがあるならば、これは熱と誠がないからである。」これは、5年後に新しくなる千円札に描かれる北里柴三郎の言葉です。患者様や地域の皆様から信頼と満足をいただけるよう、熱意と誠意を持って地域医療並びに専門医療を行ってまいりますので、今後ともご指導ご支援の程、よろしくお願い申し上げます。



# 新任のご挨拶

事務部長 大熊 克美



はじめまして。さくらの花が咲き誇る4月1日から当院に勤務させていただくことになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

豊かな緑に囲まれた王山に立つきれいな建物と充実した設備の当院が長い歴史と伝統をつないで今日があることを思いをいたしますと、当院で働かせていただけることの感謝と同時に責任の重さに身が引き締まります。

近年の医療を取り巻く環境が益々厳しさを増しているということをひしひしと感じております。当院は環境の変化に対応しつつ、令和となる新しい時代にも地域の皆様から求められる医療を提供し続けるため、経営基盤の確立に向けて病院をあげて取り組んでいます。決して容易な道のりではないと承知しておりますが、地域の皆様には当院で治療してよかったと言ってもらえるように、そして当院で働く私たち職員の自慢の病院であり続けるため、自らの役割を自覚して精一杯の努力をしていく所存です。

もとより微力でございます。皆様からのご指導をいただきながら努力して参りますのでよろしくお願いいたします。

## ボランティア 感謝状贈呈式

療育指導室 主任保育士 京野 明子

平成31年3月7日に平成30年度ボランティア感謝状贈呈式及び懇談会を開催いたしました。

今年度当院では、14団体、9個人がボランティア活動をされ、音楽活動や読み聞かせ、縫製作業、総合案内、清掃活動など、病院職員ではなかなか行き届かない部分を支えていただきました。

またつくし病棟では、大学生による三線の演奏や奇術ショー、演歌と踊りの歌謡ショーなど新たな活動も増え、患者様に充実した時間を過ごしていただくことができました。

当日は6団体3個人の出席があり、谷本院長による感謝状の贈呈が行われました。

贈呈式後には懇談会も行われ、出席された方々から当院に対する様々なご意見やご要望などをお聞きすることができました。

ボランティアの皆様には、いつも患者様やご家族をサポートしていただき、皆様の支援によって患者様の入院環境がより充実したものになっておりますことを、改めて感謝申し上げます。



### ボランティア感謝状贈呈式 出席団体・個人

- ・早島町婦人会 様
- ・早島町更生保護女性会 様
- ・早島町愛育委員会 様
- ・桜山会 様
- ・倉敷東ライオンズクラブ 様
- ・岡山県立大学 奇術部 Magical Magica! 様
- ・大嶋 喜美枝 様
- ・竹井 悦子 様
- ・岡本 佳子 様



# 職場紹介

## 医療連携・患者支援センターをご活用ください！

「医療連携・患者支援センター」は、患者様が住み慣れた地域の中で適切な医療や介護が切れ目なく受けられるような支援をする事を目的に、「医療連携室」「病診連携室」「患者支援室」を設置して業務を行っています。

### 医療連携室／病診連携室

当院において、地域医療連携室を設置したのが、平成16年4月です。当時は、看護師、医療ソーシャルワーカー、事務職員が各1名ずつでスタートしましたが、現在は、医療連携室/病診連携室と名称も変わり、看護師4名、医療ソーシャルワーカー6名、事務職員3名と人数も増え、活動しています。

病診連携室は、患者様が当院に受診や入院する際に紹介等の連携を中心に支援をしていきます。

医療連携室は、患者様が当院で治療を受けて、社会復帰をしていく中でおこる様々な生活の課題（医療面だけでなく、生活の場所、介護、社会的、心理的、経済的など）に対して支援をしていきます。

#### 病診連携室業務

- ◎診療予約/検査予約/患者受入トリアージ・調整
- ◎入院相談/レスパイト相談
- ◎紹介状・返書管理/データベース作成
- ◎広報活動
- ◎地域医療介護機関訪問/地域医療介護資源の把握



#### 医療連携室業務

- ◎医療福祉相談支援
- ◎退院・転院に関する相談支援
- ◎在宅サービス・医療機関・福祉施設などとの連絡調整支援

その他

- ◎医療連携に関する会への運営・参加
- ◎地域貢献（講師派遣、地域行事の参加など）



### 患者支援室

当院の患者・ご家族様からのご相談やご意見をお伺いし、皆様に安心して診療を受けていただけるように支援するために、「患者支援室」を設置しております。

当院では、「患者さまの声」を病院スタッフへ届けるために、ご意見箱『虹色ポスト』を外来受付・中央病棟1階ライフスタイルギャラリー・各病棟に設置しております。いただきました貴重なご意見は、担当者により丁寧かつ迅速に対応を検討し、病院のサービス向上に努めてまいります。

患者様の受診や入院については、『病診連携室』にお問い合わせください

TEL:086-482-3031



## 「食物アレルギーと緊急時対応」を開催して



アレルギー疾患医療拠点病院対策室  
小児アレルギーエデュケーター 黒岡 昌代

2月24日に岡山アレルギーフォーラム2019「食物アレルギーと緊急時対応—正しく知って、守ろう！いのち—」をテーマとして、医療従事者や教育関係者の方を対象に研修を行い、想定を上回る95名の方の参加がありました。

第一部の講演会では岡山大学病院小児科の八代将登先生に、「食物アレルギーと緊急時対応」をテーマに、食物アレルギーの病態や症状、アレルギー症状がおこったときの対応などを具体的にお話いただきました。

また、当院の高橋洋子薬剤師より「エピペン®について」、私が「アナフィラキシー症状に気付くために」をテーマにメディカルスタッフの立場からお話いたしました。

当院は昨年9月1日に岡山県アレルギー疾患医療拠点病院に岡山大学病院とともに選定されました。拠点病院事業として医療従事者や教育関係者の方々により実践的な研修を行いたいと考え、第二部では研修参加者がグループに分かれて、緊急時対応のためのロールプレイとグループワークを行いました。とても熱心にロールプレイやグループワークに取り組んでおり、会場は熱気にあふれていました。今回、医療従事者や教育関係者といった専門職種の方を対象に参加型研修を行うことは当院として初の試みでしたが、アンケート結果では満足度が高く、今後も同様の研修開催を望む声をいただきました。来年度も、専門職種と一般の方を対象とした研修をそれぞれ行いたいと考え、開催時期や内容の検討を始めています。

国民の二人に一人はアレルギー疾患に罹患しているといわれ、近年患者は増加傾向にあります。アレルギー疾患に悩む多くの方に、正しい情報、適切な治療を届けるために、岡山県アレルギー疾患医療拠点病院として地域の方々と協力して取り組んでいきます。どうぞよろしくお願いいたします。



## 平成30年度 神経・筋疾患政策医療ネットワーク

### 中国・四国ブロック研究発表会に参加して



2階東病棟 療養専門介助員 山口 紀子

2月16日（土）神経・筋疾患政策医療ネットワーク中国・四国ブロック研究発表会に参加させていただきました。

同じような悩みや問題を抱えている他施設の療養介助員の取り組み発表は、今後の患者様への関わり方のヒントとして大変興味深い内容であり参考になりました。発表後、他施設の方とお互いに、情報共有の時間を持つこともでき良い刺激となりました。

また、リハビリ、MSWの方の発表では、介護とは違う視点から患者様に対する関わり方を把握することができました。

今回の学びをスタッフ間で共有し神経筋・難病患者様の療養生活が更に快適で充実したものになるよう努めて参ります。

最後に、今回の発表の準備、データの収集に協力して下さった病棟の看護師、療養介助員 みなさんに感謝致します。ありがとうございました。





# 健康教室を 開催しました

栄養管理室 栄養士  
森廣 真菜



3月26日(火)に第6回健康教室食事会を開催しました。今回は初参加の方が多く、最終的にはほぼ定員数の19名(!)とこれまでで最も多くの方に参加いただき、平成の締めくくりとして嬉しい結果となりました。

テーマはズバリ「減塩だけじゃない!! ~血圧を下げる食事~」です。減塩=薄味で美味しくないだけ、というイメージを覆し、過剰な塩分(ナトリウム)を排泄しやすくする栄養素や、少ない塩分でも美味しく食べられる調理法などについてご説明しました。もちろん塩分の取りすぎは厳禁です。

食事は鯖のヨーグルト味噌焼き、もやしのカレーソテー、バナナに加え、サラダバイキングを実施しました。実は生野菜に多く含まれるカリウムは体内の余分な塩分を排出する働きがあるので♪「普段より薄いからお漬物が欲しい」「野菜はこんなに食べないかな」と言われる皆様でしたが、食事を通して日頃の食生活を振り返る良い機会となったのではないのでしょうか。減塩ドレッシングなどを使ってもりもり召し上がっていました。

栄養バランスや食べる量などに注意して美味しい減塩生活を皆様が進めますように…☆彡



【今後の予定】(※内容は変更する場合があります)

- ・6月25日(火) 認知症予防  
介護されないために今、出来ること…

★お申込み方法★ お電話にて、直接お申込み下さい。  
(連絡先)南岡山医療センター 栄養管理室  
ダイレクトイン(086)482-1128  
内線: 3224・3225・3240



## 独立行政法人国立病院機構 南岡山医療センター

〒701-0304 岡山県都窪郡早島町早島4066  
電話(086)482-1121(代表)  
FAX(086)482-3883  
<https://minamiokayama.hosp.go.jp/>

